

### 第3回 辰野町部活動地域クラブ移行連絡協議会 議事録

日時：令和7年6月16日（月）

18：30～

場所：町民会館大会議室

#### 1. 開会

#### 2. 委嘱書交付

#### 3. 自己紹介

新しい委員のみ自己紹介

#### 4. あいさつ

<教育長>

みなさん、こんにちは。

一日のお仕事でお疲れのところ、また昨日まで辰野町ではほたる祭りということで、委員によっては疲れも残っているだろうと思っているが今日から新しい委員を迎えて、令和7年度の地域クラブ移行連絡協議会を開催できることを大変ありがたく思っている。通算3回目ということになる。昨年度まで2回開催をして、昨年度も色々手探りの部分もあったが、実証事業等行って、いくつかの成果、具体的な課題も見えてきたので、それを基に令和7年度、今年度の方向を決めていけばと思っている。部活動の地域移行は突き詰めていけばいくほど課題もでてくる。ここについてはどこの市町村も本当に苦しんでいるところで、でもやっていかなきゃいけない。辰野町としてできる地域クラブ移行をやっていかなければならない。できるところから無理なく、これからずっと続けていけないといけない。持続可能なものにしていかなければいけないので、みんなで協議しながら進めていく。みなさまの力をお借りすることになる。

中学校の部活動をどういう風に辰野町として取り組んでいくのか、このことをメインに考えていければと思っている。これを機に町民のスポーツ、あるいは社会文化活動の発展にもつながっていければいいと思っている。

#### 5. 協議事項

##### (1) 推進計画策定について

資料説明

地域クラブ移行⇒地域展開へ名称変更

<リュシオスポーツクラブ瀬戸委員>

名称変更の件だが、協議会自体の名称も変更になる。ということでもいいか。

<事務局>

一緒に審議して、その形にしていけばいいと提案させてもらった。

<スポーツ協会池田委員>

この移行計画だが、少し文言が抜けていると思った。この部活動移行がなにを対象にしているかを、明確にしておいたほうがいいと思う。辰野中学校の17の部活が今回の対象だと書き込むことを提案する。もうひとつ、移行について事務局がとても大切な位置付けになると思う。事務局の大切さを、推進計画のどこかに前提条件として書き込んでもらいたいと思う。どうか。

<事務局>

前段の17の部活についてだが、先ほど説明した通りで、部活がそのままスライドして移行するわけではない。中学校に17部活があるが、体制として17作るとは限らない。そのため推進計画の中に盛り込むというのは難しいと思う。右から左へという地域移行のイメージでやるとそういうことになるが、開かれた中に中学生を受け入れるため、数を明確にいくつというのは言いづらい。受皿については、このあと協議事項の中でお願いしたい。

<教育長>

事務局から2つお願いしたいことがあった。ひとつは推進計画。ここでは辰野町部活動地域クラブ移行推進計画（案）とあるが、地域クラブ移行を地域展開に変えて辰野町部活動地域展開推進計画（案）ということにしたいがどうか。

承認。

現段階は案になっている推進計画を承認してもらえれば（案）がとれ、正式な推進計画になる。意見はあるか。

<辰野町町PTA連合会翠川委員>

6ページの辰野町の方針について。ページの真ん中あたりに、「しかし、種目、活動内容または各関係団体によって事情が異なることから、段階的に進める。その間、中学生の部活動については活動の計画を保障する。」とあるが、保障する強すぎないか。ここまで強く言い切っているのかという心配がある。

<事務局>

教育長の方針。中学校で行われている部活動は、現在の町の状況を見て、すぐに地域への展開ができないことがある。そのため順次進めていく中で、受け入れる先が決まらない部活動はそのまま継続していくという意味になる。教育長が先ほど話をさせてもらった通り、部活動については将来、町の社会教育の場として、展開していく間に部活動として成り立たない場合もあるかもしれない。その時は中学校の判断で、廃部に

することもあるかもしれないが、そういうものとは別と考えて進めていくということでお願いしたい。

#### <教育長>

部活動地域展開によって中学生がやりたい活動ができなくなるのは避けたいと考えている。それぞれ部活ごとに地域展開できるものもあれば、厳しいものも当然 17 の部活動の中にある。それでも中学生 3 年間、部活動は生きがいでもあるため、極力保障してやりたい。どんな形であっても。そんな意味で、強い決意となっている。では、推進計画案について承認してもらえるか。

承認。

#### <事務局>

先ほど質問があった通り、本協議会について、辰野町部活動地域展開連絡協議会とする。連絡協議会について町で設置要綱を定めているため、設置要綱も名称変更を行う。

### (2) 実証事業について

#### 資料説明

#### <リュシオスポーツクラブ瀬戸委員>

実証事業のことで当クラブ大変お世話になっているが、また役に立てることをうれしく思っている。こういった活動の中で実際、クラブの体験をしたいという 5、6 年生、割と上の学年が多くでてきている。それも地域展開を見越した、意味合いがあるのではないかと感じている。今、話があったが、保護者の方たちは指導的な部分にはできないが、シャトルを集めたり、トスをすることなどで、協力をしてもらっている。地域展開は部活動を地域で支えていくというような意味合いがあると思う。そういった中で指導者のみならず、保護者の方、地域の方ができることをできる範囲で関わっていくことがひとつ目的となってくるような気がする。モデルケースとして、他のスポーツ等に広がっていけばいいと思う。

#### <教育長>

今、小学校 5、6 年生が競技に関心を持ち始めているという話があったが、具体的に小学生も参加している。そうではない？

#### <リュシオスポーツクラブ瀬戸委員>

体験して、クラブに入会するというケースが多いが、バトミントンの中学生メンバー 60 名近い人数で活動しているため、指導者的な部分や、会場的な部分で苦勞している。高学年の子たちは自分で考えてできるため、低学年の子たちの受け入れは延長させてもらっている状況。

### (3) 報告

#### ①部活動顧問現況調査について

##### 資料説明

#### ②中学校の部活動加入状況について

##### <辰野中>

補足も含めて、報告の②中学校の部活動加入状況に関わって状況等、話をさせてもらう。資料5は今年度の部活の加入状況の数字だが、5月末の段階になっているため、現在だと転部などで変更がある。全校の約4分の1が未加入という状態。未加入者の詳しい内訳は不明だが、未加入者の97名はクラブチームに所属している生徒もいる。クラブチームは、硬式野球、サッカー、バトミントン、新体操、チアダンスという運動系に入っている生徒が一定数いる。数字だけ見ると各学年100名程度が入部していて、例年安定して100名程度の入部がある。仮に、全校の生徒が部活にバランスよく入部すると各部活動約23名という数字になるが、23名を超えている部活は現在、17部活中の7部活のみ。逆に一桁の部活に関しては、17部活中の4部活となっている。ここで、3年生が引退をすると単独でチームが組めない部活がでてくる。人数で見えていくとサッカー部は、3年生が引退をすると11名より少なくなるため、合同チームで大会に出場するという状況になってくる。また、合唱部は部員全体が4名であり全体での活動は厳しいというのが現状。顧問に関して、現在17部活中、2人体制の顧問配置ができている部活はすべての部活ではない。1人体制の指導がある。外部指導者の力を借りてということもある。急に体調悪くなってしまったり、私自身も冬、事故で車が止まってしまい、学校にたどり着けないこともあった。こういった状況になってしまうと子どもたちへの連絡手段に困り、活動そのものができなくなることが職員の人数から見られる。チームスポーツだと出場が難しくなっている現状もあり、これからの推移を見ると、17部活の存続が物理的に難しくなってくると予想。現在本校では、部活動募集停止の条件も考えながら、今年度周知していき、来年度以降、地域展開の状況も踏まえながら、実施をしていかざるを得ないという状況。

### (4) 今後について

##### <事務局>

資料3の5ページに書いてある報告書としては、受け入れ意志のある総合型地域スポーツクラブ等の協力を得ながら実施種目数を拡大できるように検討する。としてあるが、第2回の連絡協議会の後、事務局は8年度末をもって休日の展開をしていくという目標があるため、具体的にどのように動いたらいいのか検討をしてきた。総合型地域スポーツクラブや、スポーツ協会が活動していることを考えた結果、リュシオスポーツクラブが中心となって地域展開の受け入れをしてもらい、スポーツ協会やスポーツ競技団体、文化団体が協力して地域展開を進めていくのが、一番合理的に進められると思う。組織

体制として、リュシオスポーツクラブに事務局の役割を担ってもらい、調整してもらいながら、中学生の地域展開を行っていく組織体制にできたらと考えている。どうか。

<南信教育事務所主事大嶋主事>

資料6の松川村だが、今年度総合型地域スポーツクラブを立ち上げた。松川村にはスポーツ協会、スポーツ少年団はあったが、総合型地域スポーツクラブはなかった。話し合いの末、スポーツ少年団は解散。各社会教育団体が自立活動を推進していく形で松川村総合型地域スポーツ・文化クラブを設立。スポーツ協会が事務局。部活動地域移行コーディネーターが兼務している。クラブ事務局は、相談窓口と保険とりまとめをしている。当初、松川村は地域展開ありきのところがあり、うまくいかず、それぞれの活動を将来に向けてという形で進めていく最中。具体的なところはこれから行う。スポーツ少年団は解散したが、スポーツ協会は残っており、すべてスポーツクラブが加盟しており支えている。その中に中学校部活動地域移行関連団体も加盟している。村では、「バリチャレ」というスポーツ文化芸術体験を行っている。最後のページにあるが、どこの市町村も同じような課題を抱えながら進めている。情報を聞きながら進めていただけるとありがたい。

<スポーツ協会池田委員>

辰野町で松川村と同じような関係図みたいなものはないのか。

<事務局>

具体的なイメージ図はない。ただ、松川村のクラブ組織図を見てもらおうと運営委員会とあるが、この運営委員会をリュシオにお願いしたい部分というイメージ。このイメージ通りに進めると地域展開がスムーズにできるのではないかと考えている。

<スポーツ協会池田委員>

教育委員会の位置づけはどこか。松川村はクラブ設立時の関係図があるが、教育委員会の関わりどうなっていくのか。

<事務局>

おそらく、松川村の資料はクラブ設立時の関係図なので、総合型地域スポーツクラブを立ち上げる際のものだと思う。辰野町にはリュシオスポーツクラブがあるためクラブを立ち上げる際に関係図は必要ないと思う。教育委員会側としてリュシオスポーツクラブに委託する形だと考えている。ただ、丸投げではなくリュシオスポーツクラブとコーディネーターが間に入り、連絡調整をしながら進めていく方向で考えている。

<リュシオスポーツクラブ瀬戸委員>

実は県や国で総合型地域スポーツクラブ連絡協議会というものがある。そういったも

のに参加する中でそれぞれの市町村でやり方は違うが、総合型地域スポーツクラブが地域移行に関わっている事例は聞いている。先ほど事務局から話があったが、運営委員会は総合型地域スポーツクラブが担っているケースが多い。町から委託を受けて各関係団体や保護者、生徒、指導者のコーディネートを行っていると言っている。2020年に設立し、事業が軌道にのってきているところで、請け負って今の状態で完璧にできるかどうか言えないが、見通しがつくようであれば手伝いをさせてもらおう。設立当初から主な活動のひとつに地域移行を捉えている。時期が近付いている話を聞いて実感している。

<辰野中学校PTA中谷委員>

例えば、明日から部活を地域移行するといったときに17の部活の受皿となるものが、町の中にクラブが何個あるのか知らない。町で把握しているのか。

<事務局>

実際には受け入れ団体はほとんどない。今日文化団体として音楽協会の林さん、美術会の原さんが見えているが、合唱関係はお願いするとすれば林さん。芸術関係は原さんあたりでお願いしたい。原さんの美術会では受け入れてもらえると話をしてもらっている。環境を整えば進めていけると思う。ただ、スポーツ系は受皿や方針が見つけれない現状があるため、実証事業として今年度陸上の長距離を地域で受け持ってやってもらおうと思っている。まずどのような体制で行っていくか固まったところで詳細を把握しながら地域展開につなげていけると思う。具体的なところは連絡協議会のみなさんで協議していくようになっていくと考えている。

<辰野中学校PTA中谷委員>

極力町の中で進めていくのか。それとも町外と連携をとっていく？

<事務局>

辰野町のみでできない競技もあるため、箕輪や南箕輪と連携しながら広域で進めていく話もあるが、そこまで話を広げてしまうと収集つかなくなってしまうので、町内で受け入れることのできる競技から進めていく。国や県から令和8年度末までに休日移行をするように目標が定められているため町でも取り組んでいくが、すべて成立させるわけではなく、できるところから進めていく。令和8年度末までに受け入れられないものは協議しながら体制を整えていく。すべての受皿を作るというわけではない。順を追って進めていく。

<スポーツ協会池田委員>

辰野中学校の17の部活を地域展開して受ける受皿が今ない。これから作っていかねばならない。スポーツ協会の方で事務局は作れないため、リュシオスポーツクラブに協力していく。リュシオスポーツクラブの方でどのくらい受け入れられるのか。受け

入れられないとあふれてしまう。その場合廃部するのか、どこかほかの受け入れ先を探すのか。判断を早くした方が日程に間に合うと思うがどうか。

<教育長>

タイムスケジュールを作って進めていくのは、考えていない。今年度教育委員会の体制を強化した理由はそこにある。どこの市町村もそうだが、初めからすべての部活動が移行できない。中学生に不安な思いを持たせないことを大事にしていく。強引に進めたら持続可能な活動にならない。受皿が全くないわけではないと思う。ここから発掘していく中にあるのではないか。その思いでこれから実証事業等に取り組んでいく。

<リュシオスポーツクラブ瀬戸委員>

辰野中学校の 17 の部活動の受け入れ先を今決める必要はないのではないかと。現状維持して活動できるための仕組みをみなさんで考えていく。1 から 10 まで教える必要はないが、技術的な部分は指導が必要となってくる。活動に対して自主的に進めていける年齢だと思う。中学生の自主的な活動に地域の人材がどのように関わるかを協議していくのがこの部活動地域クラブ展開連絡協議会だと思う。点と点を結ぶのではなく、持続可能な活動に変えていくために知恵を出し合う。

<教育長>

今年の 2 月に静岡県のカノ川本町に視察に行ってきた。地域移行を始めて学校の統廃合をなどにより 3 年目でようやくできたそう。それぞれの部活動を支えてくれる団体は町にないが、事務局のコーディネーターがなんとか支えてくれる方を見つけ出した。結果的にカノ川本町にある中学校の部活動は地域移行できている。町には大きな団体はないが、支えてくれている。それと同じように辰野町で道が開けるのではないかと。思う。

<辰野高校>

中学校の課題は高校の課題でもある。高校では中学校より自分たちでできる部分があるため、若干先生たちの負担は中学校より軽いのではないかと。だが、教職員の負担はある。リュシオスポーツクラブが中学校の部活動をすべてコーディネートすると勘違いしていた。カノ川本町のようにまっさらな状態から作り上げていくというところが見えてきた。前に進むのは時間がかかると思う。どこが中心になるがわからないが、音頭をとってもらい推進していくのが大事。実証事業の財政面でのコメントに負担軽減になったとあるが、そこはどうやってクリアしていくのか。兼職兼業届を出して給料をもらう状況を作るのか。ボランティアとして支えてもらうのか。私はボランティアに支えられる事業は意識がなくなった途端に終わってしまうと思う。持続可能なものにしていくのを常に考えていくのは大事。健康増進のために年配の方の中から指導者を集めるのもひとつの手だが、難しい。クリアしていく課題が多いと感じた。私が今日午前中に参加してきた校長会で話題になった話だが、ある村の高校が、中学校を巻き込んで村から助成し

てもらいクラブ活動をしている。村は中学校と高校が連携し、助成の恩返しとして総合型地域スポーツクラブの中心となり、拠点を作る形で巻き込んでいくことを教育委員会は考えていると聞いた。共有しておく。

#### <教育長>

ボランティアは続かないからだめ。地域移行を進める中で謝金の問題だったり、中学校の教育活動とは離れるので保険の問題だったり、様々なところを考えていかなければいけない。辰野町ではボランティアは考えていない。謝金を払わないと持続可能なものになっていかない。先ほどの中谷さんの話だが、団体種目を辰野町のみで完結するのは不可能。箕輪町も南箕輪村もそう。このことについては3町村の教育委員会で困ったときにはお互い協力していこうと話をしている。だがまずは自分たちの自治体でできることを考えていく。それでもできなくなったときには協力することを考えている。

#### <事務局>

辰野高校の清水先生から小中学校、高校の連携について話があったが、協議会に呼んでいるのはまさにそのため。

リュシオスポーツクラブが前向きに検討してくれるようなので、今後の協議会で決めていきたい。

#### (5) その他

#### 6. その他

#### 7. 閉会